浜崎小学校便り

浜っ子通信

令和８年11月２日第７号

校長　藤田郁夫

学校教育目標　　チャレンジ浜っ子　～わたしらしくあなたらしく～

学ぶ楽しさを実感し、主体的に学び続ける児童の育成

～　各教科等における、ICT の活用を通して　～

浜崎小の校内研究

浜崎小学校では、自分の考えを広げ深めることができる児童を育てるために、表題の研究主題を掲げ、研究主任を中心に校内研究をすすめています。具体的には、授業の中で、「考えを表出する場」「考えを交流する場」「考えを練り合う場」において、ICT を効果的に活用する場面を設定し、児童の主体的な学びを目指しています。

研究の取組

〇授業研究会

各学級の授業を先生達でお互いに参観し合い、意見交流し、より質の高い授業を目指します。また本校独自の「**授業 DX シート**（授業計画案）」を開発し、活用しています。

〇学年グループでの教材研究

低・中・高学年グループに分かれ、研究に向けた教材研究や授業計画を行います。

〇ICT の活用に関する研修

ICT 推進リーダーを中心に研修を進めます。

〇研究のまとめ

１年間の研究実践や、成果と課題をまとめます。



授業公開

先生方は各グループで授業ＤＸシートを検討し、全員が授業を公開しました。



意見交流

授業公開後は、互いに感想を出し合い、共有することで改善につなげます。



タブレット活用の研修

タブレット端末の効果的な活用方法について研修を積み、授業に活かします。

浜崎小学校便り

学校教育目標
チャレンジ浜っ子　～わたしらしくあなたらしく～

SOS の出し方



SOS の出し方教育の推奨

文科省では、「子供が、現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に対応するために、適切な援助希求行動（身近にいる信頼できる大人に SOS を出す）ができるようにすること、及び身近にいる大人がそれを受け止め、支援ができるようにすること」を目的として、SOS の出し方教育を推奨しています。

校長講話　11/2 全校集会

産まれたばかりの赤ちゃんは、話すことはできません。けれども、一生懸命泣くことで、自分の要求を伝えようとします。人間は生まれながらに、SOS を伝える力をもっているのです。

産まれてきてからこれまで、自分なりにがんばって生きてきた皆さんは、一人一人がとても大切な存在です。最近、あなたに不安や悩みはありませんか？不安や悩みには、様々な原因があります。勉強、顔や体形、友達、いじめ、家族・・・・・。

今の自分に自信がもてなかったり、眠れない、イライラしたりすることがあるならば、それはあなたの心の SOS かもしれません。そんな時は、迷惑にならないところで大声でさけんだり、思い切り歌ったり、せんべいをバリバリ食べたり、氷を握りしめる方法などもあります。でも、自分だけではどうにもできないときには、身近な大人に話してみませんか？家族や、担任の先生、ほかの先生、保健室の先生、地域の方、スクールカウンセラーの先生・・・。あなたが相談しやすいと思う人に話してみましょう。

「自分で何でもできる力」を身に付けていくことは、とても大切です。でも、「人にたよれる力」が必要なときもあります。この 2 つは、一見、逆のことのようでも実はそうではありません。なぜなら、この 2 つの力は、どちらも「自分を大切にすること」につながるからです。

NEWS

浜崎小学校には、児童や保護者、教職員の心のケアを担当する SC（スクールカウンセラー）が来校しています。また、問題を抱える児童を取り巻く環境へ働きかけたり、関係機関との連携・調整を行ったりする SSW（スクールソーシャルワーカー）が来校しています。

■SC（スクールカウンセラー）

宮原　千富美　先生

月に 2~3 回程度で来校し、45 分間の相談に対応します。（先着順）

■SSW（スクールソーシャルワーカー）

益田　清子　先生

青少年支援センターに在籍し、学校の支援要請を受けて、随時、来校支援や家庭訪問等の対応をします。

SC や SSW との面談をご希望される場合は、学校までご連絡ください。

Web サイト:
https://www.education.saga.jp/hp/hamasaki-e/

連絡先:
0955-56-6116

メール アドレス:
hamasaki-e@education.saga.jp